



[秋田市観光クチコミ大使]

(公財)神戸いきいき勤労財団 六甲道勤労市民センター館長

石垣 長三郎 氏

## 「お宝」を活かして

体操選手でもないのに、自分の足が頭より高い位置に…、そして背中からの無残な着地。冬が来る度に、キンキンに凍った氷の感触と冬空に映える私の革靴が、昨日のように思い出されます。あれから11年、充実した秋田での3年余を振り返りたいと思います。

私は、航空会社時代の33年間の内、最初の5年以外は営業で過ごしました。就中、若い時は、旅行代理店への販売促進の他、就航路線の販売強化を図るため、日本各地を旅行代理店やマスコミの方々と旅する機会に恵まれました。特に当時のTDA(後にJAS/JAL)にとって東北は、重要地区の一つであり、足繁く通わせていただきました。とりわけ秋田は、20回以上にのぼり、秋田への異動の内示を受けた時は、長年の知己との再会を喜びながらも「ご縁の強さ」を改めて感じました。

さて、秋田の思い出といえば、自然・山菜・日本酒・まつり・温泉・劇団わらび座等々。そして温かく迎えていただいた多くの人々が印象に残っています。

春といえば桜と山菜。角館・桧木内川堰堤はもちろんですが、大潟村の桜と菜の花街道のスケールの大きい景観は、「これは売れる！」の一語でした。また、芯から冷えた千秋公園での夜桜花見会は、主役が熱燗になっていました。また、春の恵みと言えば、ひろっこ・バツケ・こしあぶら・みず等々。すっかり、にわかでしたが山菜ファンになりました。

夏は、まつりですね。竿燈まつり・西馬音内盆踊りそして全国花火競技大会。秋田を離れた後、花火を見る機会がありますが、打ち上がった花火が真円かどうかにか拘る自分にびっくりしました。

短い秋は、紅葉です。田沢湖から341号線経由で十和田湖方面へ向かうコースは絶景でした。食べ物はやはり、きりたんぼ鍋。くせのある、根のついた「せり」は強烈でしたが、美味でした。日本酒は、それまで自発的に呑む習慣はありませんでしたが、秋田の皆様のご薫陶を頂戴するに至り、まったく

として芳醇な秋田の酒に、すっかり虜になりました。お陰様で通町に、何かと理由付けて通う酒屋さんもでき、ご主人や女将さんに酒選びの楽しさをご教授いただきました。感謝です。

そして、何よりも秋田の皆様のユーモアと温かい人柄に触れることが出来たのは、小生の人生にとってかけがえのない物でした。特に社業不振の時にも、温かい励ましの声を掛けて頂いた故渡邊靖彦前会頭はじめ、多くの方々に改めまして心より御礼申し上げる次第でございます。

秋田には、素晴らしい観光素材が多くあります。これは、「特別な物」であり「お宝」でもあるのです。自然をはじめとする私の「秋田の思い出」以外にも、秋田弁・秋田こまち・秋田美人(イメージも含め)等は最上のもので。北海道や京都は別格かもしれませんが、これほど多くの良質な素材を有している所は、さほどないのです。あとは、個々の「お宝」を磨き・繋げ、強烈な地域イメージに仕上げる事だと思います。最後に、冒頭失敗談をご披露いたしましたでしたが、観光振興と雪道歩行のコツとの共通点を述べ、拙文を締めさせていただきます。

1. 前傾姿勢を保ち、重心は臍あたり
2. 視線の先は、遠すぎず近すぎず
3. たまには、足元とはるか先の目標を把握すべし  
今後の、秋田の更なる発展を祈念申し上げます。

## ■ 略歴

1952年	神戸生まれ
1974年	関西大学法学部卒業
同年	東亜国内航空(TDA/JAS)入社
2002年	九州支社国内販売部長(JAL)
2004年	秋田支店長(2007年退職)
現在	(公財)神戸いきいき勤労財団 六甲道勤労市民センター館長